東北自動車道「桑折ジャンクション」に名称決定

現在、桑折町松原で工事が進められている、東北自動車道（仮称）福島北ＪＣＴの正式名称が、「桑折ジャンクション」に決定しました。

12月25日には、相馬福島道路の早期完成等を求める桑折町民総決起大会に向けた発起人会が行われました。この最中に、ＮＥＸＣＯ東日本より、「桑折ジャンクション」の名称決定の連絡が入り、引き続き、このことを発表する記者会見が行われました。

高橋町長は「町としても、以前からの要望活動が実を結んだ結果となった。これは、まさに本町における21世紀の追分の誕生。この名称を得たことで、さらに全国的に広く『桑折』をアピールでき、大変嬉しく思う」と話し、喜びを分かち合いました。

ＪＣＴ名称決定を受けて、今後はインターチェンジの名称に「桑折」が用いられるように求めることを目的として、1月29日に町民総決起大会を「イコーゼ！」で行います。

1

2

3

4

1_ 記者会見で「桑折 JCT」の名称決定を発表する高橋町長　2_ 総決起大会に向けた発起人会の様子　3_ 平成 28 年 9 月着工直後の現場の様子　4_ 平成 30 年 12 月 13 日時点の「桑折 JCT」の工事進捗状況

▼桑折 JCT の完成イメージ図。平成 32 年度の開通に向けて、今後も安全に工事を進めていきます。

全町民が心待ちにしていた、町内に設置されるジャンクションに「桑折」の名称が使われることに決まり、大変嬉しく思っています。

相馬福島道路についても、平成32年度の開通に向け、順調に工事が進捗していると聞き、早期開通が楽しみです。この勢いをもって、今後は、インターチェンジの名称に「桑折」が用いられるように、力強く要望していきたいです。

今度の総決起大会でも、多くの町民の皆さんに参加いただき、桑折町のさらなる発展に向けて、町民一体となって盛り上がっていきたいと思います。

桑折町民総決起大会
発起人会会長
佐藤 久仁夫さん

福島民報社「ふくしま産業賞」桑折町から2企業が選ばれる

県内の優れたものづくりや先進的な取り組みを展開する企業、団体、個人を表彰する福島民報社の第4回ふくしま経済・産業・ものづくり賞（ふくしま産業賞）において、桑折町からは、（一財）桑折町振興公社が銀賞、㈱三栄精機製作所が特別賞に選ばれました。

㈱三栄精機製作所は、大正14年に創業し、汎用エアモータやなどの空圧技術を生かした製品を設計・製造しています。国内唯一の自社製品や会社の歴史の長さが評価を受けました。また、町振興公社では、特産の桃を使った6次化商品開発をはじめ、「レガーレこおり」での食と農をつなぐ取り組みなどが評価されました。

表彰式は2月8日に郡山市で開催される予定です。

1

2

1_ 国内で唯一製造している LNG ポンプ吊揚装置
2_ 昨年多くの食のコンテストで称賛されたソルベ

工場内で使われる機械を製造している会社であり、なかなか本社製品が町の皆さんの目に触れる機会がありませんが、小さい会社ながら国内唯一の自社製品を手掛けています。

今後も産業の下支えとなれるよう努めていきます。

株式会社三栄精機製作所
取締役管理部部長　鈴木 永吾さん

福島圏域11市町村で協議会設立
広域連携を強力に推進

福島圏域11市町村による広域連携を進める福島圏域連携推進協議会が11月19日、設立しました。

参画するのは、福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村、米沢市（オブザーバー）の11市町村。この協議会は、人口減少・少子高齢化に伴う諸課題に対し、近隣市町村で相互に助け合い事業を推進することで、持続的な発展と地域の活性化を図ることを目的とします。

今後は、観光事業や移住定住促進事業、自治体職員合同研修、オリンピック・パラリンピック事業等を実施しながら、新たな連携事業や体制について協議を進めます。

◀市町村の結びつきを一層強め、広域連携を強力に推進します

町の〝未来〟を見据えて提言
町政策推進有識者会議提言書

事業の推進や改善を図るため設置した「桑折町政策推進有識者会議」において、各委員から挙げられた意見を提言書として取りまとめ、12月25日、吉岡正彦委員長から町長に手渡されました。

「〝町民に的確に届く〟行政情報の発信」や「〝町の強みと弱み〟を分析した人口減少対策の推進」、「〝桑折版ネウボラ〟からの子育て支援策展開」など6項目からなる提言を生かし、今後の予算編成や施策・事業に取り組んでいきます。

▶提言書を手渡す吉岡委員長（提言書は町HPでご覧いただけます）

旬のもぎたてりんごグルメ旅
仙台圏対象にしたモニターツアー

仙台圏の人を対象にした風評被害払拭のためのモニターツアーが11月23日に開かれ、桑折町のりんご収穫体験などを行いました。

参加者は、ホタピーのラッピングバスで出発し、はじめに旧伊達郡役所を見学。その後、りんご畑に移動し、ウエルカムホットアップルティーを飲みながら、収穫を体験したり、生産者にりんごができるまでの話を聴いたりしました。

昼食は、「ピザスタ」でりんごがのった焼き立てピザを堪能しました。最後に、香村工芸の「福桃ちゃん」の絵付けに挑戦。参加者は顔や願い事を書き、福呼ぶこけしを完成させました。

参加者は「さまざまな体験ができて楽しかった」などと笑顔で話しました。

1_生産者の話を聞きながら、旬のりんごを収穫　2_出来立てのピザをSNSで発信している人も　3_福桃ちゃんの絵付け体験ではさまざまな表情のこけしが仕上がりました

出荷量拡大に向けて
あんぽ柿トップセールス

高橋町長は、伊達市長、国見町副町長、JAふくしま未来役員、生産者代表らとともに、12月17日に東京都大田市場（国内最大の青果物卸売市場）にて、「あんぽ柿」のトップセールスを行いました。

当日は、早朝より大田市場マンモス競売台前で、市場関係者への試食サービスや挨拶を行い、伊達地方特産の「あんぽ柿」を大いにPRしました。

今年は、生育期間中の天候に恵まれたため、例年より糖度が高い「あんぽ柿」ができました。高単価での販売が期待されます。

◀東京大田市場で飴色に仕上ったあんぽ柿の試食を実施しました

▶親子で協力しながら、あんぽ柿を作りました

桑折の食の魅力に触れる
あんぽ柿・ピザづくり体験

桑折町の特産品のひとつであるあんぽ柿とピザを作る食農体験事業が12月1日に行われました。

参加者は、はじめに、あいはら果樹園であんぽ柿づくりを体験。柿の皮を丁寧に剥いて、へたを紐にくくりつける作業を行いました。

その後、「ピザスタ」に移動し、町産の野菜や果物をたくさんトッピングしたオリジナルピザを作り、焼き立てを美味しく味わいました。

参加者は、作って、食べて、桑折の食の魅力に触れることができた1日となりました。

topics
桑折町ふるさと納税のお知らせ

問総務課　財政係　☎582-2111

◆返礼品（ふるさと産品）を拡充しました！

この度、「ふるさと桑折」をアピールするため、魅力ある返礼と感じていただけるよう、桃を中心に、返礼品の返礼率をアップするとともに、「献上桃の郷」ブランドをはじめとする町産品（至福の桃シリーズ等）や、県内町村初となる「お墓管理サービス」および地元企業による「防災食セット」などを返礼品に追加しました。

また、従来の1万円、3万円、5万円、10万円の4コースに加え、新たに2万円、15万円、20万円のコースを追加しました。

＼確認しよう！／
ふるさと納税とは？

「ふるさと桑折」を想い応援する人から寄附金を募り、寄附者が応援したい事業に寄附金を使わせていただくことで、魅力あふれるまちづくりの推進をめざすものです。

new **故郷を思うあなたに**

県内町村初となるお墓管理サービスや空き家見守りサービス、広報誌・桑折町史の送付等から選べます。

new **安全・安心の備えに**

町内に工場のあるフクシマフーズ㈱の「レトルトごはん」や山吉青果食品㈱の「防災食セット」があります。

new **健康志向のあなたに**

山吉青果食品㈱の「フルーツこんにゃくゼリー」はいかがですか。珍しいアセロラ味や抹茶味もあります。

new **こおりの逸品を**

「至福の桃」シリーズをはじめ、純米吟醸酒「momono」や辛口桑折、鞄工作社いたがきの革製品等があります。

※返礼品の送付対象は桑折町外在住の寄附者に限ります。予めご了承願います。

◆ふるさと納税の寄附申し込み・活用状況

桑折町ふるさと納税は、頂いた寄附金を基金に積み立て、寄附者が指定した町の事業に活用しています。

【ふるさと納税の申し込み状況】
（平成30年4月～12月15日まで）

総額 **2,244万円**
（前年同時期：2,087万円）

気になる人気の返礼品は…？
第1位……桃
第2位……桃ジュース
第3位……あんぽ柿

今年は、全国各地から607件（前年491件）の寄附をいただきました。皆さまのご寄附、ありがとうございました。

【ふるさと納税の活用状況】（平成29年度実施事業分）

分野	事業内容	金額
福祉	桑折いきいきサポートセンター改修	187万円
産業振興	農業振興活動拠点施設整備関係	585万円
	環境にやさしい桃づくり推進事業	185万円
	萱尻牧場駐車場等整備	99万円
	恵みの農地再生事業補助金	53万円
防災	消防団用ラッパ	83万円
教育	小中学校入学祝品制服購入	470万円
	保育所屋根防水改修工事	356万円
	小学校水泳インストラクター、平和学習事業派遣	82万円
	桑折テニスコート備品代	75万円
	ふくしま駅伝町実行委員会補助金	62万円
災害復旧	災害復旧工事（町道1114号、1137号、2094、2096号、4151号）	220万円

※50万円以上の事業について掲載